

令和2年度

経営状況報告

やぶパートナーズ株式会社

第8期事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

■事業概要

当社は、創業から数期間は赤字続きで多額の繰越損失を抱え、債務超過の状態にありましたが第5期以降、種々の収益対策を講じた結果、徐々に収益力が改善し期間損益は黒字傾向で推移してきました。

今期は期初から新型コロナウイルス蔓延の影響を受け、先が見通せない中での企業運営となりましたが債務超過の早期解消に向けて①収益意識の徹底②売れ筋商品の発掘③新たな販路の開拓④新商品の開発⑤ふるさと納税返礼品開発を柱に収益機会の確保に努めてまいりました。一方では取扱件数が増加傾向にあるふるさと納税事務受託の進捗管理等を徹底することで事務コスト増加の抑制を図りました。

しかしながら全世界に蔓延するコロナ禍の影響は大きく朝倉山椒の輸出はほぼストップ状態、国内の各種イベントも軒並み中止、浅草のアンテナショップ「まるごとにつぼん」も昨年11月で閉鎖、相次ぐ緊急事態宣言の発出で豊中市桜塚商店街の「やぶや」も出店がままならず売上は大きく落ち込むこととなりました。

そこで市内事業者や農家支援を図るとともに収益機会を少しでも増やすため、市内の販売拠点を増やしたり、養父市が包括連携協定を締結した兵庫県内オールトヨタとの連携を強化し、トヨタモビリティパーツ㈱の協力のもとトヨタグループの各種イベント等に参加し売上の確保に努めました。

また、今年度は新たな売れ筋商品の発掘の一環として大屋地域で栽培されるメロンを夏のギフト商品に組んだり、再開したやぶの道の駅で但農フルーツと共に特産品や加工品として販売したところ大好評を得て道の駅の集客や売り上げに大きく貢献いたしました。

さらに、当社開発商品の「大人味のシロップ 朝倉山椒」はANA 国際線ファーストクラス機内食のデザートソースとして9月から2月末までの半年間に亘って採用されたり、五つ星ひょうごに選定され兵庫県の特産品として全国発信されるなどうれしい出来事もありました。

新商品としては、朝来農林振興事務所農政振興課の支援を得て、収穫遅れの朝倉山椒の有効活用策として「朝倉山椒オイル」を開発し生産農家の収入増加を図りました。

その結果、売上高は60,028千円、対前期比△4,118千円、経常利益は8,543千円、対前期比△1,384千円となりましたが、懸案であった債務超過からは脱出することが出来ました。

6次産業化支援センター指定管理部門では、今年度も専門講師を招いて「特産品開発セミナー」を開催し、建屋・三谷村おこし協力隊が「ちょんまげ寿司」を開発、市内道の駅等で年間4000本以上売上げるなど徐々に効果が出てきています。

また、当社はこれまで別宮の棚田の景観保全の一環として農家と栽培契約を結び「棚田米」を購入してきましたが、経費削減を打ち出した大口の販売先との契約が今年度で打ち切りになるなど先行き不透明な事案が発生し今後の大きな課題となりました。

新型コロナウイルス感染症は変異型が猛威を振るうなど終息が見えない中で新年度を迎えることとなりますが市内事業者・農家支援を図りながら収益事業のさらなる拡充を図り、繰越損失の早期解消を目指します。

引続き、行政当局をはじめ関係機関並びに株主のご指導、ご鞭撻を切に要望し第8期の事業報告といたします。

株主及び出資金

(1) 株式の総数

・会社が発行する株式の総数	400株
・発行済株式の総数	400株

(2) 株主の内訳

(単位:千円)

	第8期		増減		本年度末現在	
	人員	出資金	人員	出資金	人員	出資金
400株	1	20,000	0	0	1	20,000
合計	1	20,000	0	0	1	20,000

(3) 株主名簿 (出資者)

氏名又は名称	住所	持株数または 出資額
養父市	兵庫県養父市八鹿町八鹿1675	400株

従業員数 (令和3年3月末日現在)

(単位:人)

		社員数
正規職員		4
	うち市内	4
	うち市外	0
パート職員		3
	うち市内	2
	うち市外	1

決 算 報 告 書

(第 8 期)

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

やぶパートナーズ 株式会社

兵庫県養父市八鹿町八鹿1685-2

電話 : 079 - 661 - 9001

貸借対照表

令和 3年 3月31日 現在

やぶパートナーズ 株式会社

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	9,654,504	【流動負債】	5,964,015
現金及び預金	3,842,446	買掛金	527,883
売掛金	171,917	未払金	2,275,337
商品	1,986,509	未払法人税等	185,000
立替金	6,400	未払消費税等	1,685,700
未収入金	3,647,232	前受金	90,000
【固定資産】	668,022	預り金	1,200,095
【有形固定資産】	397,032	負債の部合計	5,964,015
建物附属設備	349,547	純 資 産 の 部	
車両運搬具	2	【株主資本】	4,358,511
工具器具備品	47,483	資本金	20,000,000
【投資その他の資産】	270,990	利益剰余金	△15,641,489
出資金	230,000	その他利益剰余金	△15,641,489
敷金	40,000	繰越利益剰余金	△15,641,489
預託金	990	純資産の部合計	4,358,511
資産の部合計	10,322,526	負債及び純資産合計	10,322,526

損 益 計 算 書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

やぶパートナーズ 株式会社

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	7,429,130	
米 販 売 売 上	58,101	
そ の 他 売 上	10,015,457	
養 父 市 委 託 業 務	37,280,670	
兵 庫 県 委 託 業 務	227,273	
受 取 家 賃	1,779,266	
水 道 光 熱 費 収 入	3,239,011	
売 上 高 合 計		60,028,908
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	143,105	
当 期 商 品 仕 入 高	6,713,144	
米 仕 入 高	1,116,114	
そ の 他 仕 入 高	5,964,180	
合 計	13,936,543	
期 末 商 品 棚 卸 高	△1,986,509	
売 上 原 価		11,950,034
売 上 総 利 益 金 額		48,078,874
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		39,613,791
営 業 利 益 金 額		8,465,083
【営業外収益】		
受 取 利 息	60	
受 取 配 当 金	1,500	
雑 収 入	110,119	
営 業 外 収 益 合 計		111,679
【営業外費用】		
支 払 利 息	32,884	
営 業 外 費 用 合 計		32,884
経 常 利 益 金 額		8,543,878
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		8,543,878
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		185,314
当 期 純 利 益 金 額		8,358,564

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

やぶパートナーズ 株式会社

(単位： 円)

科 目				金 額	
役	員	報	酬	5,800,000	
給	料	手	当	14,785,174	
雑			給	328,724	
賞			与	1,060,710	
法	定	福	利	2,194,065	
福	利	厚	生	15,670	
外		注	費	100,342	
荷	造	運	賃	66,335	
広	告	宣	伝	155,603	
接	待	交	際	21,255	
旅	費	交	通	858,123	
通		信	費	985,427	
販	売	促	進	953,080	
消	耗	品	費	628,148	
事	務	用	品	410,660	
修		繕	費	223,710	
水	道	光	熱	3,752,505	
新	聞	図	書	42,006	
諸		会	費	285,830	
支	払	手	数	954,300	
車		両	費	10,600	
地	代	家	賃	2,889,960	
り	一	ス	料	244,560	
保		険	料	191,240	
租	税	公	課	359,750	
支	払	報	酬	1,196,644	
寄		付	金	1,000	
研		修	費	425,420	
減	価	償	却	586,441	
雑			費	1,688	
米	販	売	費	84,821	
販売費及び一般管理費合計					39,613,791

株主資本等変動計算書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

やぶパートナーズ 株式会社

(単位： 円)

【株主資本】

資 本 金	当期首残高			20,000,000
	当期末残高			20,000,000
利 益 剰 余 金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	当期首残高			△24,000,053
	当期変動額	当期純利益金額		8,358,564
	当期末残高			△15,641,489
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高			△24,000,053
	当期変動額			8,358,564
	当期末残高			△15,641,489
株 主 資 本 合 計	当期首残高			△4,000,053
	当期変動額			8,358,564
	当期末残高			4,358,511
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高			△4,000,053
	当期変動額			8,358,564
	当期末残高			4,358,511

個 別 注 記 表

やぶパートナーズ 株式会社

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

法人税法の規定により、売買目的有価証券については、期末決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっています。

その他の有価証券については移動平均法による原価法によっています。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しています。

なお、平成10年4月1日以降取得した建物（附属設備を除く。）及び平成28年4月1日以降取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しています。

② 無形固定資産

定額法によっています。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

① 消費税等の会計処理

税抜経理方式によっています。

貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 4,401,278円

一株当たり情報に関する注記

一株当たり純資産額	10,896 円 28 銭
一株当たり当期純利益金額	20,896 円 41 銭